

全社員の意識が変わり、現場が変わる!

「本物の5S」と「見える化」による 現場改革・快善の実践展開法

職場の乱れに5S

- ミスが減る!
- 社員が育つ!
- 利益が増える

日時

2026年 2月 24日(火) 10:00~17:00

会場

東京・平河町近辺の会議室 または オンライン

講師

西澤技術士事務所 所長

中小企業診断士、技術士(経営工学) **西澤 和夫 氏**

参加者には
講師著書
進呈します



米国系産業機械製造メーカーに入社後、マーケティング、新製品開発、生産管理、品質保証、生産技術、技術サービス等を担当し、国内海外多数の取引企業の技術・品質指導を実施。その後、コンサルタントファームのチーフコンサルタントとして、本物の5S、見える化、品質保証、生産改善、生産改革、管理監督者育成、問題解決力等のコンサルティング指導により効果を上げた。その後、西澤技術士事務所を開設し、今日に至る。
技術士(経営工学部門)、中小企業診断士、品質管理学会正会員
[著書]「工場長のための実践! 生産現場改革」「よくわかるこれからの生産現場改革」(同文館出版)「生産管理ハンドブック」「5S導入ハンドブック」「リーダー力強化ハンドブック」(かんき出版)「QC工程表と作業標準書」「儲かる生産現場強化マニュアル」(日刊工業新聞社)など多数



全員参加の「本物の5S」で組織風土をつくり、人が育つ職場をつくる!

コロナ禍の収束後も生産現場のコミュニケーションの大幅低下が続き、働く人の多様化が進んでスキルが低下しているため、生産現場での人間関係の悪化、トラブルや品質低下問題が多発しております。そのため、モノづくり企業がやりがいを持てる「**職場風土**」をつくり、生産現場として生き残るには、「本物の5S」と「見える化」を導入し、徹底して活用することが必要不可欠になっております。しかし、導入しても定着しなければ、期待したほどには効果が現れないのが「本物の5S」と「見える化」の特徴です。

本セミナーでは、「本物の5S」と「見える化」を定着させ、さらに**現場快善力強化に展開する実践法**を、講師の指導実績に基づき、講師の著書とポイントをついた事例やフォーマットを使い、分かりやすく、明日からすぐに実践できるよう解説いたします。

参加対象:管理監督者、改善活動リーダー、担当者 等

1 企業競争に生き残るために「本物の5S」が必要だ！

- 1 今、「本物の5S」の新たな展開が求められている
- 2 「本物の5S」の基本目的と3原則・行動ルール
- 3 「本物の5S」で「組織風土」を再構築して一体感を醸成する
- 4 生産現場の3礼で作業のPDCAを回し快善を実践する
- 5 「本物の5S」の定義とは何か
- 6 新たな時代に生き残るためには「躰」が必要

2 「本物の5S」と「見える化」の段階別導入・定着の進め方

- 1 「本物の5S」と「見える化」導入の
基本プログラムと準備事項
5S導入基本プログラム例 整理基準表
- 2 「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」の「見える化」の進め方
- 3 「本物の5S」の導入から定着への成功事例紹介

3 オフィス改革への「本物の5S」と「見える化」の導入法

- 1 ワンベストとシングルファイリングで
オフィスを「見える化」する
- 2 オフィスワークを標準化し、人づくりに展開する
- 3 フリーデスクの導入で進化する職場体質をつくる

4 「本物の5S」と「見える化」による快善力強化の実践法

- 1 「本物の5S」には
モノづくり企業を改革するパワーがある！
- 2 「本物の5S」から快善活動に展開する秘策
～「5S点検チェックリスト」と「5S実施計画表」の活用法～
5S点検チェックリスト 5S実施計画表
- 3 「5S快善展開表」から「5S実施計画表」への展開法
5S展開快善表 5S実施計画表

5 「本物の5S」の停滞・マンネリ化を防ぐ有効な対策とは

- 1 「本物の5S」が停滞・マンネリ化した職場の問題点とは何か
- 2 なぜ「本物の5S」が定着せずマンネリ化するのか？
- 3 「本物の5S」の停滞・マンネリ化を打破する
具体的な対策はこれだ
～「5S停滞を打破する快善対策一覧表」と
「5S快善チェックリスト」の活用法～
快善対策一覧表 5S快善チェックリスト

6 「見える化」で職場の問題解決力をスピードアップ

- 1 「本物の5S」から「見える化」への実践
- 2 「見える化」は「本物の5S」から始め、
工程管理に展開せよ

7 「本物の5S」と「見える化」による
「ムダとり」への実践展開法

「本物の5S」活用の「7つのムダとり」で
生産現場から利益を生みだせ

8 「本物の5S」と「見える化」の更なる展開とは

～快善力強化と儲かる工場づくりを目指す～

受講料

※1名様につき 税込み・テキスト代込み

日本ならびに 他地区IE協会会員	日本生産性本部 賛助会員	一般
39,600円	46,200円	52,800円

申込方法

ホームページからお申込みください。 <https://www.j-ie.com/seminar>



日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
E-mail jiie@j-ie.com <https://www.j-ie.com/>

担当
斉藤・島田